

○教育長(銘苅 健)

皆さんおはようございます。

これより令和 7 年度の第 10 回教育委員会定例会を始めます。

会議の成立について、事務局の報告を求めます。

○教育総務課庶務係長(津覇 大輔)

報告いたします。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 14 条第 3 項により、5 名中 5 名が出席しておりますので、本定例会が成立していることをご報告いたします。

○教育長(銘苅 健)

ありがとうございます。

本定例会は成立しているとのことですので。

それでは会議順に従って進めてまいります。

はじめに会議録の承認を行います。

本日は、10 月 31 日開催の第 8 回定例会の会議録承認を行います。

資料を事前に目を通していると思いますので、よろしければ承認いただきたいと思います
が、いかがでしょうか。

○教育委員

はい。

○教育長(銘苅 健)

ありがとうございます。それでは後程署名をお願いいたします。

次に、本会議の会議録署名人の指名をいたします。

大兼奈月委員と宮城靖委員のお二人をお願いいたします。

○教育委員

はい。

○教育長(銘苅 健)

次に教育長報告ですが、今回報告事項はございません。

それでは議事に移りたいと思います。

本日の議事は 5 件となります。

議案第 31 号については、議会上程日まで、報告第 20 号、報告第 21 号については、人事案件であるため、秘密会扱いとしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

○教育委員

はい。

○教育長(銘苅 健)

それではそのように、進めてまいります。

議案第 31 号、報告第 20 号、報告第 21 号について、浦添市教育委員会会議規則第 6 条第 1 項の規定に基づき、秘密会とします。

○教育総務課長(大城 博郎)

休憩をお願いします。

○教育長(銘苅 健)

休憩いたします。

再開します。

議事の進行につきましては、議事日程の通り進めてまいります。

それでは議事に移ります。

議案第 30 号「臨時代理したことを報告し、承認を求めることについて」提案理由をお願い

します。

○教育部長(野村 美抄代)

はい。

○教育長(銘苅 健)

野村部長。

○教育部長(野村 美抄代)

議案書 1 ページをお願いいたします。

議案第 30 号「臨時代理したことを報告し、承認を求めることについて」。

提案理由は、第 215 回浦添市議会定例会に提出する議案を作成するための意見の申出について、緊急やむを得ない事情により、会議に付する暇がないため、浦添市教育委員会事務委任等に関する規則第 4 条第 1 項の規定に基づき、別紙のとおり臨時に代理したので、同条第 2 項の規定により、これを報告し、承認を得る必要があるためでございます。

議案書 3 ページをご覧ください。

こちらは、臨時代理し、教育委員会として了承した旨を市長へ申し出た写しとなります。

4 ページをご覧ください。

意見の申出に関する事案詳細一覧となります。

内容といたしましては、第 8 号補正予算についてでございます。

詳細につきましては、学校給食調理場よりご説明申し上げます。

○教育長(銘苅 健)

はい、調理場所長。

○調理場所長(金城 京子)

議案書 6 ページをお願いします。

学校給食費補助金交付事業でございます。

補正理由は、給食食材費の物価高騰及び栄養価の充足率向上を図るため、食材費を給食費に上乗せをするためでございます。

実施期間は、令和 8 年 1 月から令和 8 年 3 月でございます。

補正額といたしましては、歳入 12 款 2 項 21 目 1 節、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金(調理場)、1,609 万 4,000 円。

歳出 10 款 6 項 2 目 18 節、学校給食物価高騰対策補助金、1,609 万 4,000 円でございます。

次に議案書 9 ページをお願いします。

内訳といたしましては、小学校児童一人当たり日額 25.49 円。

中学生日額 41.13 円の食材費への上乗せとなります。

学校給食費につきましては、今年度 4 月より、増額改定を実施したところでございますが、その後も物価高騰の影響を受け、食材費の安定的な確保が困難になっていたところ、9 月議会において、米飯価格の高騰分を、補正予算にて議決していただいたところです。

しかしながら、給食提供栄養区分の充足率は、100%に達していない状況であることから、今回 12 月議会において補正予算を計上させていただきました。

今回の補正予算において給食費に上乗せすることで、栄養区分 13 項目のうち、充足率 100%を超える項目が、小学校では 11 項目から 12 項目へ、中学校は 5 項目から 6 項目へ増加する見込みです。

また、エネルギーだけを見ますと、小学校で 623.5 キロカロリーから、654 キロカロリーで、充足率 101%。

中学校で 738 キロカロリーから、771 キロカロリーで、充足率 93%まで向上する見込み

となっております。

まず9月補正予算で小学校月額平均268円。

中学校月額357円の上乗せとなっております。

その後、今回の12月補正予算で、小学校月額458円、中学校月額740円。

総合計で小学校月額約726円の上乗せ、中学校は約1,097円の上乗せとなっております。

以上でございます。

○教育長(銘苅 健)

はい。ありがとうございます。

ただいま、調理場から補正予算についての説明がありました。

委員の皆さん、ただ今の説明に関してご質問等があればお願いいたします。

はい、下地委員どうぞ。

○教育委員(下地 イツ子)

今の説明を受けまして、少し質問をさせていただきます。

この上乗せ分によって、どういった改善が見込まれるのか、具体的に教えていただけますか。

○教育長(銘苅 健)

調理場所長。

○調理場所長(金城 京子)

今回は、栄養価の充足率を上げるということで実施しておりますが、その中でもたんぱく質やエネルギー量の底上げを図っております。

主に、今まで使えなかった県産品を使用したり、豚肉を活用していたものを牛肉に変えたり、お肉の大きさを10gほど大きくしたりというように、全体的な底上げを図るような形で提供量の増加を見込んでおります。

○教育委員(下地 イツ子)

ありがとうございました。

○教育長(銘苅 健)

他にございますか。

東委員どうぞ。

○教育委員(東 健策)

休憩をお願いします。

○教育長(銘苅 健)

休憩します。

再開します。

東委員をお願いします。

○教育委員(東 健策)

食材費についての市からの補助というのはとてもありがたいと思っておりますけれども、同様に今後1月から3月に向けてのランニングコスト、電気・水道・ガス、この辺りの高騰についてはどのくらいの見通しでしょうか。

よろしくをお願いします。

○教育長(銘苅 健)

調理場所長。

○調理場所長(金城 京子)

現在、学校給食費としていただいているこの食材費に関しましては、今回上乗せ分につ

きましても全て食材費に充てる予定でございます。

その他の、学校給食の運営に関する光熱水費、水代・電気代等は市の方で支出しておりますので、今後少し厳しくなる状況も見込まれますが、財政当局と調整をして支払っていきたいと考えております。

以上です。

○教育委員(東 健策)

ありがとうございます。

○教育長(銘苺 健)

他に質問ありますか。今の給食費に関して。

9月補正で米飯の補助を行い、そして今回の12月補正で食材の補助という事で、合わせて栄養価が基準に近づけた。

小学校の場合達成、中学校の場合は近づけたということで、今回の結果が出るということです。

それでよろしいですか。

○教育委員

はい。

○教育長(銘苺 健)

それでは、議案第30号について承認ということによろしいでしょうか。

○教育委員

はい。

○教育長(銘苺 健)

議案第30号は承認されました。

次に、議案第31号について行います。

秘密会となりますので、本案件の関係職員以外は退席、事務局は資料の配布をお願いします。

それでは、議案第31号「第217回浦添市議会臨時会に提出する議案を作成するための意見の申出について」、提案理由の説明をお願いします。

○教育部長(野村 美抄代)

はい。

○教育長(銘苺 健)

野村部長。

○教育部長(野村 美抄代)

議案書は10ページとなります。

議案第31号「第217回浦添市議会臨時会に提出する議案を作成するための意見の申出について」でございます。

提案理由は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、第217回浦添市議会臨時会への議決を経るべき事件の議案を作成するにあたり、浦添市長から教育委員会へ意見が求められているためでございます。

議案書は11ページをご覧ください。

事案詳細一覧となります。「財産の取得について」となります。

詳細につきましては、学校教育課長よりご説明申し上げます。

○教育長(銘苺 健)

新里課長。

○学校教育課長(新里 優子)

それでは 12 ページをご覧ください。
財産の取得についてご説明申し上げます。
購入する財産といたしましては、学校における ICT 機器。
購入する数量は、電子黒板及びパソコン合計 46 台。
購入金額は 2,574 万円でございます。
浦添市内に本社を有することなどを条件といたしました、制限付き一般競争入札を実施いたしまして、AM 科学株式会社と令和 7 年 12 月 26 日付で仮契約を締結しております。
議案書 13 ページ、参考資料 1 をご覧ください。
入札参加事業社は 3 社で、各社の入札金額は記載の通りとなっております。
続きまして 14 ページ、参考資料 2 をご覧ください。
本事業の概要についてご説明いたします。
事業名は、こどもが主体的に学習するための学校 ICT 機器整備事業でございます。
財源に、令和 7 年度沖縄振興特別推進交付金を活用しており、用途は、学校 ICT 機器の整備。
導入校は牧港小学校及び前田小学校で、各学校への整備台数は記載の通りでございます。
今回購入予定の 46 台につきましては、2 校へ令和元年度に整備した電子黒板の機能強化のための買い替えとなっております。
去った 11 月議会での一般会計補正予算第 5 号で措置した、備品の購入となっております。
以上でございます。

○教育長(銘苅 健)

はい、ありがとうございます。

ただいま説明がありましたように、「財産の取得について」でございました。
この件について、委員のみなさんからご質問、ご意見等があればお願いします。

○教育委員(宮城 靖)

はい。

○教育長(銘苅 健)

宮城委員どうぞ。

○教育委員(宮城 靖)

入札価格について確認をしておきたいのですけれども。
予定価格が 6,488 万 1,520 円に対して、入札価格が 2,340 万円、約 40% 強下がっているという部分について、従来、前回までの入札では、記憶の中では 80%~85% ぐらいの価格設定、入札価格決定だったと思うのですけれども、42~3% に落ちているというのは、スペックを下げて入札を行ったのかという部分で、確認したいのですが。

○教育長(銘苅 健)

新里課長どうぞ。

○学校教育課長(新里 優子)

今回の入札に関しまして、スペックを落とすというような事はいたしておりません。
予定価格の算定につきましても、市の契約規則に則って事前に積み上げを行っております。
今回の予定価格との乖離につきましては、積算時点における標準的な実際の価格を大きく下回るという結果ではございますけれども、あくまでも事業者の戦略的な営業努力によるものであると考えております。

以上でございます。

○教育長(銘苅 健)

はい、ありがとうございます。

他にありますか。

○教育委員(東 健策)

はい。

○教育長(銘苅 健)

東委員どうぞ。

○教育委員(東 健策)

関連して、今回入札された業者は、実績というのでしょうか。

前例があるのかどうか。

本市において、既にその業者にお問い合わせしたり、納入されたり実績はあるのかどうか、その辺りを確認したいと思います。

○教育長(銘苅 健)

新里課長。

○学校教育課長(新里 優子)

今年度4月の入札でも同社が落札をしております。

また、実績で申し上げますと、令和4年度にも落札の実績がございます。

○教育委員(東 健策)

はい、ありがとうございます。

○教育長(銘苅 健)

他にありませんか。

○教育委員(東 健策)

はい。

○教育長(銘苅 健)

東委員。

○教育委員(東 健策)

手元の資料14ページの中で、牧港小学校が21台。

前田小学校が25台となっておりますけれども、これは学級数なのか、それともその中に特別支援学級、あるいは理科室等の特別教室が含まれているのかの確認です。

○教育長(銘苅 健)

はい、新里課長。

○学校教育課長(新里 優子)

今回両校の内訳を申し上げますと、牧港小学校が普通教室に17台、特別教室に4台、前田小学校が普通教室に20台、特別教室に5台を予定しております。

○教育委員(東 健策)

よろしいですか。

○教育長(銘苅 健)

はいどうぞ、東委員。

○教育委員(東 健策)

とすると、特別支援学級あるいは特別教科等々の全てを満たしていると、考えてもよろしいのでしょうか。

○学校教育課長(新里 優子)

休憩をお願いします。

○教育長(銘苺 健)

休憩します。

再開します。

新里課長お願いします。

○学校教育課長(新里 優子)

特別支援学級への配置は令和 6 年度に、全ての小学校 11 校に配置をしたという実績がございますので、今回の配置は普通教室及び特別教室への配置ということを予定しております。

○教育長(銘苺 健)

はい、ありがとうございます。

○教育委員(東 健策)

ありがとうございます。

○教育長(銘苺 健)

他に質問はありますか。

○教育委員(宮城 靖)

はい。

○教育長(銘苺 健)

宮城委員どうぞ。

○教育委員(宮城 靖)

予定の金額から大幅に残が出たわけですが、その残については、ICT 機器等々で流用可能なのですか。

それとも余ったということで、市の予算に返すという形になりますか。

○教育長(銘苺 健)

はい、新里課長。

○学校教育課長(新里 優子)

3 月の補正で、入札の執行残という形で返す予定をしております。

今後につきましては、機器の耐用年数、整備対象校の分散、財政の平準化等を考慮いたしまして、整備計画全体の持続性を確保するために、余った予算を今年度使うということではなくて、令和 8 年度の交換の前倒しでございましたので、令和 8 年度の更新は行わずに、令和 9 年度からまた再開するという事で考えております。

○教育委員(宮城 靖)

はい、ありがとうございました。

予算残額という形で市に返すと。

○学校教育課長(新里 優子)

はい。

○教育委員(宮城 靖)

ありがとうございます。

○教育長(銘苺 健)

はい、他にありますか。大丈夫ですか。

では私の方から確認をさせていただきます。

今回入札額との大きな差があるのですけれども、この業者は過去にも既に入っているところだとは思いますが、アフターケア等はどうなのでしょう。

○学校教育課長(新里 優子)

はい。

○教育長(銘苅 健)

はい、新里課長。

○学校教育課長(新里 優子)

アフターケアも含めまして、講習・研修等も含めて、仕様書に組み込んでおりますので、行っていただけるものと考えております。

○教育長(銘苅 健)

ありがとうございます。

では過去を例に出しても大丈夫ということですね。

他に委員の皆さん何かありますか。

今回の ICT の購入についてよろしいですか。

それでは議案第 31 号「第 217 回浦添市議会臨時会に提出する議案を作成するための意見の申出について」提出された案件について了承してもよろしいでしょうか。

○教育委員

はい。

○教育長(銘苅 健)

ありがとうございます。

それでは、議案第 31 号「第 217 回浦添市議会臨時会に提出する議案を作成するための意見の申出について」、歳入歳出予算のうち教育に関する事務に係る部分、特に教育に関する事務について定める議会の議決を経るべき事件の議案に係る部分について、了承することを教育委員会の意見として申し出ることといたします。

なお、当該議案については、市議会上程日までは非公開として取り扱います。

それでは一旦秘密会を解きます。

関係職員の入れ替えをお願いします。

○教育委員(東 健策)

すみません教育長。

○教育長(銘苅 健)

はい、休憩します。

再開します。

それでは議案第 32 号「令和 7 年度浦添市教育委員会表彰の被表彰者の決定について」提案理由の説明をお願いします。

野村部長。

○教育部長(野村 美抄代)

議案書 15 ページをご覧ください。

議案第 32 号「令和 7 年度浦添市教育委員会表彰の被表彰者の決定について」でございます。

提案理由は、令和 7 年度浦添市教育委員会表彰の被表彰者を決定するためでございます。

詳細につきましては、教育総務課長よりご説明申し上げます。

○教育長(銘苅 健)

はい、大城課長。

○教育総務課長(大城 博郎)

令和 7 年度浦添市教育委員会表彰の、被表彰者の決定についてご説明申し上げます。議案書の 15-2 ページでございます。

令和 7 年度教育委員会表彰、内申提出状況をご覧ください。

被表彰者の内申につきましては、令和7年12月22日開催の表彰選考審査会にて、審査しております。

審査会にて、被表彰者数、一般(個人)21名、去年は23名。

一般(団体)7団体、去年は2団体。

児童・生徒は、個人57名、去年は51名。

団体37団体、去年は35団体を、表彰対象としており、本日の定例会にて承認いただき、正式決定となります。

ご審議のほどよろしくお願いたします。

○教育長(銘苅 健)

はい、ありがとうございます。

ただいま説明があったように、去年と比べて今回は、伸びも出ているということです。

委員の皆さんにも具体的に配られていますので、そちらをご確認ください。

確認している間にお願いします。

前年度は、美績あるいは善行等で推薦のない学校があったのですが、今年度は、提出等の状況はどうなっているのでしょうか。

大城課長お願いします。

○教育総務課長(大城 博郎)

前年度は当初提出のないも学校あったのですが、その後の呼びかけで、美績については全校から出ており、今年度については、当初から美績については全校から内申が上がっております。

善行については出していない学校もあります。

以上です。

○教育長(銘苅 健)

はい、ありがとうございます。

それでは美績については全ての学校から提出されているということですね。

ありがとうございます。

後は個々について、委員の皆さんからのご意見、ご質問等を賜りますので、よろしくお願いたします。

○教育委員(宮城 靖)

はい。

○教育長(銘苅 健)

宮城委員どうぞ。

○教育委員(宮城 靖)

それぞれの被表彰者の数は、表彰団体の数は、去年より増えているということで理解できますけれども、総数が去年より下がっている部分は、団体のメンバーの数、一つ一つのパイの数が減っているということの解釈でよろしいですか。

○教育長(銘苅 健)

はい、大城課長どうぞ。

○教育総務課長(大城 博郎)

委員のおっしゃる通り、団体の構成メンバーの数が減っているということでございます。

○教育委員(宮城 靖)

それともう一点は、美績、われわれも反省しなければならないというところなのですが、美績の数というのは、こども達の活躍状況、外部団体に出て行っている活躍状況の結果なので、それぞれの年で変わってくると思うのですが、善行の部分で今回増えて

いるというところは、学校の中で、学校が一人一人の子どもたちをよく理解して、しっかりと子ども達の善行を認めているということになると思うのです。それが4校ほど出ていないという部分が非常に気になるなと思うのですけれども、アプローチ的な部分はどうかされたのか、お聞きしたいのですけれども。

○教育長(銘苅 健)

はい、お願いします。

○教育総務課庶務係長(津覇 大輔)

内申者の提出状況に関しましては、校長会等で表彰式の趣旨をご説明して、善行に関しては各学校からぜひ出していただきたいということで、説明をさせていただいております。以上です。

○教育長(銘苅 健)

はい、ありがとうございます。

○教育委員(宮城 靖)

要望ですが、昨年度もこの要望を出したと思うのですけれども、各学校によって同じ程度の活躍で、善行として挙げない学校と挙げる学校のバラつきがあると思うのです。その辺りをもう少し校長先生辺りに説明を、こういった内容で善行として表彰していいですよという形の部分で、もう少し各学校から、褒める材料として子ども達を選ぶところを作っていたら、今回は善行30名なのですから、これがもっとも増えていくような状態を作っていたらいいというのが私の要望です。以上です。

○教育長(銘苅 健)

はい、大城課長どうぞ。

○教育総務課長(大城 博郎)

委員のおっしゃるように、各学校と推薦しやすいような内容を見て、できるような形を検討させていただきたいと思います。

○教育長(銘苅 健)

私の意見ですけれども、募集する時に、去年はこのような形で出ていましたよという事例的なもの、それを出していくと、こういった形で推薦できるんだということで、もっと推薦が出てくるかなとも思いますので、ぜひまた次年度の募集をかける時に、前年度の事例という形で、名前を消して推薦項目等をいくつか出しておくことで、学校としては、こういったことでもいいのだということで、推薦がしやすいかなとも思いますので、その辺りの工夫をよろしくお願いします。

はい、それではこの件お願いいたします。

東委員どうぞ。

○教育委員(東 健策)

令和6年度、令和7年度の表彰の数を見た時に、個人でプラス4人、団体でプラス7団体ということで、とても喜ばしく思っております。

一方で分野がございまして、教育行政功労という分野の中で、昨年度今年度と、2年連続でゼロという数字になっております。

今、その表彰規定の第8条、(1)から(3)までの基準がありますけれども、それが高いのかなと、(1)については、教育委員として8年以上という明確なラインがありますけれども、(2)(3)については少し、どの辺りに基準を設けているのかという曖昧な部分がございますので、今後教育行政功労という分野を、充実させるためには(2)(3)の見直しが必要かなと感じておりますけれども、その辺りいかがでしょうか。

○教育長(銘苅 健)

はい、大城課長どうぞ。

○教育総務課長(大城 博郎)

確かに委員のおっしゃるように、教育行政の審査基準というのが、少し出しづらい形になっているのかなと、おっしゃる通りかなと思っております。

ただ、通常の内部の業務で言えば、なかなか顕著な業績等が見出しづらい部分がありますので、この辺りについては、逆に言うと文言を変えるのか、どういった点で表彰するのかというのは、一旦持ち帰らせてもらって検討していきたいなど。

言葉を、文言を変えたからといって内申が増えるのかということもわかりづらい部分もありますので、ただ今言うように、表彰することでモチベーションのアップに繋がるところがあるのであれば、今後の内申の部分というのを検討する必要もあるのかなというところで、この辺り検討させていただきたいなと思います。

以上です。

○教育長(銘苅 健)

はい、ありがとうございます。

規則等の検討を事務局の方でよろしく願いいたします。

他にありますか。委員の皆さんからこの表彰を受ける皆さんへ、何か皆さんに対する事務局への質問等があればお願いいたします。

大兼委員どうぞ。

○教育委員(大兼 奈月)

読み方なのですけれども、15-10 ページの 10 番はどう読みますか。

○教育長(銘苅 健)

りゅうえいりゅうですね。

あずきさんの所ですね。

流派の名前です。

○教育委員(大兼 奈月)

あと一つ、15-9 ページにカトリック中学校の子がいるのですけれども、私学に通っている昭和薬科にもいたら嬉しいなど、もっと私学の浦添市に通っている子もいたら嬉しいなと思います。

○教育総務課長(大城 博郎)

こちらについては把握できる部分については行う方向で考えていきたいと思っております。

○教育長(銘苅 健)

ただ今ご意見でした。

他に委員の皆さんありますか。

東委員。

○教育委員(東 健策)

後一点だけ、コロナ禍の中であるいは、子どもたちの貧困の問題の中で、各小学校区・中学校区でこども食堂が運営されていると思いますのけれども、その辺りに関わっている方々の表彰というか、頑張っておられる方々の表彰はどこかの組織あるいは分野でそういう機会があるのでしょうか。

というのは、もし無ければ教育委員会表彰の中に入れてもいいのかな、という気もしておりますけれども、その辺りのことについて伺いたいと思っておりますけれども。

○教育長(銘苅 健)

事務局、大城課長。

○教育総務課長(大城 博郎)

この内容について確認したところ、こども未来部の方で所管というか、担当をしているところがあると思いますので、今後こういうものについてもご意見があったということをお伝えして、長いところがあれば積極的に出すようにということで、お願いしたいと思います。以上です。

○教育委員(東 健策)

ありがとうございます。

○教育長(銘苺 健)

ただ今のように、委員の皆さんからこの分野はどうかというのが何かあれば、どうぞこの分野も、表彰した方がいいのではないかとというのがありますでしょうか。

そしたらまた、関係部署を確認しまして、推薦を出せるというような形と思うのですが、いかがでしょうか。

では私の方から、例えば今各学校には子どもたちの交通安全ということで、立哨している方々がいらっしゃるのですが、立哨の皆さんも長い方もいらっしゃると思いますので、そういった方々の表彰はどうか、ということでは思っていますけれども、いかがでしょうか。

これまで例として、表彰されている形等がありますか。

○教育長(銘苺 健)

はい、大城課長。

○教育総務課長(大城 博郎)

これまでも立哨については、各学校からの内申があれば、表彰しているところではございます。

○教育長(銘苺 健)

では各学校からの推薦ということですね。

はい、わかりました。

では下地委員から。

○教育委員(下地 イツ子)

今伺っていて、やはり先ほどからある、子どもたちの美績だけではなく善行も含めたところの学校長の推薦、社会教育、立哨等を頑張っている方、推薦を学校から挙げていただくというところには、やはり学校長の認識というところを高めるのが一番かなと思うので、今文明の利器で Chat-GPT なるものもあるので、こういった部門でというところを簡単にまとめられたらそれをお渡しして、これまでも表彰実績がありましたよというところで、過去にも遡ってまたお知らせして、周知ができればいいのかなというふうに聞いていて感じたところです。

○教育長(銘苺 健)

はい、大城課長。

○教育総務課長(大城 博郎)

これまでのお話だと、委員の方からすると、やはり学校の子にはいろんな情報を与えて、こういった人たちが今まで表彰されていますよ、というところを例示すれば、もっと出しやすくなるのではないかとご提案だと思いますので、これについては次年度以降ですね、行う際にどういう内容のものということ、示すことができるような形で検討したいと思います。

○教育委員(下地 イツ子)

よろしく申し上げます。

○教育委員(宮城 靖)

はい。

○教育長(銘苺 健)

宮城委員どうぞ。

○教育委員(宮城 靖)

体育・スポーツの分野になると思うのですけれども、市内のスポーツ少年団の指導者の方々、例年に渡って指導してきた方々の推薦はどこからなされているのかというところで、これまでそういった方々があまり出てこないというところで、非常にもったいないなというところですが、例えば例を挙げると、昨年末に港川小学校を母体とする、ハンドボールチームが25周年を迎えたのです。

その時の立ち上げから今までずっとこのチームを面倒見てこられた方が、祝賀会の中でみんなからありがとうございました、という形の会をやっていたのですけれども、こういった方々も表彰対象になるのではないかと、これは一例ですが、野球があったり水泳があったり、いろんな所で指導されている方々が抜けているのではないかと、市内の子どもたちを育てているという部分の見方で、少し視野を広げるのはどうかと思っています。

○教育長(銘苺 健)

はい、大城課長。

○教育総務課長(大城 博郎)

委員がおっしゃるように、これが文スポの部分なのか、学校の部分なのかで、ちょうど部活動の地域移行の中で、どこが挙げるのかという隙間の部分に入っている部分がございますので、これをどう掬い上げていくのか、この辺りは検討させていただきたい。

本当であれば、学校側が認識しているのであれば学校側に確認できるかと思うのですが、なかなか目が届くのかというところは、僕らの方もわからないので、この辺については内部でも相談しながら、検討していきたいと思います。

○教育委員(宮城 靖)

多分に、小学校の分野でいうとスポーツ少年団という部分で分かれているので、それぞれの小学校で把握するということは非常に難しいと思うのです。

これから後、中学校も地域移行ということで、学校の指導の範囲から離れていきますので、そういった所も、小中共に学校から推薦するという枠がどんどん外れていって、全然目の届かないところまでということになってくるので、どういう方向で、見つけるというのは言い方おかしいかもしれませんが、そういった方々を、表彰してあげるという部分は、必要かなと思います。

よろしく申し上げます。

○教育長(銘苺 健)

東委員どうぞ。

○教育委員(東 健策)

休憩申し上げます。

○教育長(銘苺 健)

休憩します。

再開します。

それでは議案第32号について、原案のとおり承認してよろしいでしょうか。

○教育委員

はい。

○教育長(銘苺 健)

はい、ありがとうございます。
議案第 32 号は、承認されました。
続きまして、報告第 20 号について行います。
本案件は秘密会となりますので、関係職員の入れ替え、そして事務局は資料の配布をお願いいたします。
それでは、報告第 20 号「専決事項の報告について(県費負担教職員)」について報告をおねがいします。
内田部長。

～ 秘 密 会 ～

○教育長(銘苺 健)

それではこの件については、よろしいでしょうか。
ではご質問がないということで、次に報告第 21 号について行います。
関係資料の入れ替えをお願いします。
本案件の関係職員以外の退席をお願いします。
それでは、報告第 21 号「専決事項の報告について(教育委員会事務局職員)」の報告をお願いいたします。
野村部長。

～ 秘 密 会 ～

○教育長(銘苺 健)

それでは以上で、秘密会の議事は終了いたします。
事務局は資料回収をお願いいたします。関係職員の入室を認めます。
本日の議事は以上となります。
その他報告等はございますか。
特にないですね。
お諮りします。
本定例会で議決された件に係る字句、数字、その他の整理を要するものについては、教育長に委任することとしてよろしいでしょうか。

○教育委員

はい。

○教育長(銘苺 健)

ご異議なしと認めます。
よって、字句、数字、その他の整理は、教育長に委任することに決定いたしました。
以上をもちまして、教育委員会定例会を閉会いたします。
お疲れ様でした。